建設通信新聞
2024（令和6）年12月11日

最優秀に杉本さんら

建コン協九州支部

夢アイデア交流会に応募55作品

建設コンサルタンツ協会九州支部（田中清支部長）は7日、福岡市内で「夢アイデア交流会2024」を開いた＝写真。ジュニアの部（中学生以下が対象）27作品を含む総勢55作品の応募があり、ジュニアの部から杉本勇人さんの「地球温暖化問題解決の街づくり」、一般の部から「長崎県立北松西高校2年1組」の「小値賀島の主要な観光地へのアクセスの快適化」が最優秀賞に選ばれた。

冒頭、あいさつで田中支部長は「北は北海道、南は九州まで全国各地からの応募に感謝している。楽しい時間になるように夢のような話を本気でしよう」と呼び掛けた。

夢アイデア募集は今回で22回目を迎える。対面とウェブ会議形式を併用し、1次審査を通過した計10組を対象にプレゼンテーション審査した。

ジュニアの部で最優秀賞に輝いた杉本さんは、大きな温室で樹木を栽培することで地球温暖化を解決するまちを提案した。一般の部の北松西高校2年1組は、小値賀島内の観光地までのルート動画付き観光マップの作成を提案した。

審査委員長の日野伸一久留米工業大学長は「高等教育では課題解決型教育が求められる。今日は若者がそれを実践したことに感動した」と講評した。

優秀作品と優良作品の発表者は次のとおり（敬称略）。

〈ジュニアの部・優秀賞〉
▽遊んで健康になる街づくり（瀧口征駿）。

〈同・優良賞〉
▽「ヘルプカード」で優しい街づくり（倉谷睦希）。

〈一般の部・優秀賞〉
▽公園砂場の復活による子どもの心身の発達・素敵な親子関係・地域の活性化を可能にする公園砂場イノベーション高床式「木製浮き砂場」（TEAM「サンドガーデン」）。

〈同・優良賞〉
▽鉄道ルネサンス構想～鉄道イノベーションにより持続可能な幸せあふれる街を実現したい～新しいサブスク鉄道を考える（友田博）▽通学路における交通安全対策　子どもたちによる通学路アート（近藤龍之介）▽福岡市内の分裂を防ぐ（髙橋祐）▽熊本市電×アート　熊本市電現代芸術祭　移動美術館のある街（山村春菜）▽起業でつながるコミュニティづくり　廃校で日本語学習、雇用創出、地産地消でコミュニティづくり（美波有友子）。